

参考「香川のまちづくり」アイデア応募作品紹介（一部）

こんなまちに住みたい！
香川駅周辺地区まちづくりへの提言

香川駅
周辺地区
まちづくり
検討会

平成14年7月～8月に行った「香川のまちづくりアイデア募集！」には、一般の部4点のほか、地元の香川小・中学校から146点の作品が寄せられ、大変心強く感じました。香川の未来を担う子どもたちの絵や作文の中には、新鮮かつ興味深いアイデアがたくさん含まれており、提言を策定するにあたって参考にさせていただきました。ここではその一部を紹介します。



香川小5年 上野 裕太くんの作品



香川小5年 望月 綾さんの作品



香川小6年 久保田 絢香さんの作品

二十年後の香川の町は、高いビルやマンションが建って、大きいお店ができて、にぎやかな町になると思います。でも田や畑は、あまりこわさないようにしてほしいです。理由は、外国の食材をゆ入するより、安全でおいしいし、外国の木とかを切らないですむからです。きれいな川が流れて、りんごやかきの木があって、草原があって、そこに家やマンションが建って、自然にやさしい車が走って、田や畑がある町になってほしいです。つまり「地球は一つ！」ってことをわかってほしいです。お花がいっぱいさいいて、大きいデパートが建って、レストランも建ってる町になってほしいです。

でも、一番になってほしいのは、「かんきょうにやさしい町」になってほしいです。

二十年後の香川の町

香川小5年 大河 観月さんの作品

おことわり。
はじめに、私は香川に住んでいるわけではないので、変な事を書いているかもしれませんが、それは「こんなまちがいいな」という私の理想なので、あしからず。
まずは駅とその周辺です。今の香川駅は単線ですが、とりあえず上りと下りの2線に増えます。（相模線のすべてが拡張すると、さらに良い）駐輪場はきちんと整備された（屋根付き2階建ての）ものができます。周りの道路は広くなり、両端にも広い歩道ができていて、住宅、商店が建ち並んでいます。住宅といっても、大きな住宅地ではなく、自然を採り入れた、ゆとりのある住宅地になっていきます。なるべくそのままでの自然を残してほしいと思います。
つぎに自然についてです。小出川やその他の川（用水路等）の岸をコンクリートではなく、土を入れ、植物が育つようにします。（教科書の「ホテルの里づくり」のような）ゴミのポイ捨てがあらるところでは、思い切って「フタ」をしてしましましょう。鉄格子程度でも、大きなものは入らなくなるので十分でしょう。これなら川があまり汚れずにすみそうです。
林（森）などは、きちんと清掃をします。間引きもします。防犯カメラを取り付けて、不法投棄をくいとめます。ゴミはリサイクルです。
どこの森にも、たくさんの動物たちが生きているのです。
つぎは町内です。家庭内です。（家庭といっても家族とかではありません。）
家から出るゴミは、しっかりと分別されます。できるだけ何種類にも分けて出します。目指せリサイクル率100%です。
排水はとも汚れていますね。でも20年後には、すごい装置がつくられているはずです。たとえば、配管に浄化装置がついていたり。
電柱。これがあると、風景が美しくありません。電線は地面の下に。できればコードレスに。まちをきれいにするのは住民の役目です。定期的な（自治会などによる）町内清掃もしましょう。参加すれば近所付き合いもバッチリです。
それと、電波状況もよくなります。携帯電話やテレビの地上波、ラジオの電波。圏外、ノイズ、妨害電波がなくなります。テレビはさらに、専門チャンネルがきます。スポーツ、ドラマ、アニメ。高速通信はあたりまえ。
これだけの環境があれば、皆が住みたいと思わず。いや、まだまだ足りないくらい。
将来は地域全体で、まち全体で「住みよいまちづくり」ができる、そんなところになってくれればと、私は思います。（20年はあつという間です。）

「こんなまちがいいな」

北陽中2年 大矢 奈津海さんの作品